

鹿児島都市計画区域区分の変更

計 画 書

1. 市街化区域及び市街化調整区域の区分

「計画図表示の通り」

2. 人口フレーム

区分	年次	令和 2 年 (基準年)	令和 12 年 (基準年の 10 年後)
都市計画区域内人口		546 千人	532 千人
市街化区域内人口		501 千人	488 千人
配分する人口		—	484 千人
保留する人口		—	3.5 千人
(特定保留)		—	0 千人
(一般保留)		—	3.5 千人

3. 変更理由

鹿児島都市計画区域については、昭和 46 年 2 月に区域区分に関する都市計画の決定を行い、その後、昭和 58 年 3 月に第 1 回の見直し、平成 8 年 6 月に第 2 回の見直し、平成 16 年 5 月に第 3 回の見直し、平成 26 年 10 月に第 4 回の見直し等を行い、今日まで無秩序な市街地の拡大を防止し、計画的な市街化を図ってきたところである。

当該区域は旧鹿児島市の行政区域全域からなるが、県が定めた「かごしま未来創造ビジョン（令和 4 年改訂）」や市が定めた「第六次鹿児島市総合計画（令和 4 年策定）」と整合の取れた都市づくりを進めていく必要がある。

また、区域区分は当該区域の将来計画及び構想等に対応し、「鹿児島市域 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）」に即する必要がある。

このようなことから、都市計画基礎調査の結果等を踏まえ、区域区分の見直しを実施するものである。